



主は約束通り復活された、アレルヤ！

コンスタンシオ・コンサルタ神父

イースターは祝日の中の祝日です。クリスマスが聖母マリアを通して人としての命となりイエス様の誕生を祝うこの上なく素晴らしい祝日であるとすれば、イースターは人から神へと復活されるために死者のうちから復活されたイエス様に注目する最も偉大な祝日です。イースターは、時間の震源地であり、時間と不滅をつなぐ出来事です。（主の復活によって私たちは生まれ変わり、新しい時が始まった。）それはまさしく「今日こそ主の御業の日。今日を喜び祝い、喜び踊ろう」（詩篇 118 章 24 節）なのです。

主の最後の日々と死という厳粛な記念の後、私たちは4月の残りの日々をお祝いする時として過ごします。4月は最も厳粛で崇高な人類の歴史の出来事（御受難、死、そして過越しの神秘であるイエス・キリストの復活）が多くあります。この復活への道は十字架の道でしたが、いけにえの神の子羊は今も永遠に私たちの光であるキリストであり、新しい契約の永遠の大祭司なのです。そして聖金曜日の悲しみの母はいまや喜びの天の国の女王なのです。

春が近づき、自然も新芽や花を咲かせて私たちと一緒にあって、復活の喜びにあふれるこの月を過ごします。この1か月を通して「キリストは真に蘇られた」と私たちは叫び続けるのです。慈しみの神の祝日は私たちに新たに洗礼を授かるがごとく再び歩み始める機会を与えてくれます。主の計り知れない慈しみは、私たちがただ主の最高に恵み深い贈り物を受けるのみであることを明白に示しています。イースターは祝日の中の祝日、すべてのキリスト者の純粋な喜びと嬉しさです。これこそまさに、「主が作られた日」なのです。

日曜日から日曜日に、年から年に、この地上のすべてのイースターは私たちを、父である神の王国にともに連れて行って下さるために、キリストが栄光の内に再び来られると約束された日に導いて下さるのです。

2017年3月度住吉小教区評議会議事録

日時・場所 2017年3月19日(日) 11:05~12:58、第2会議室

始めの祈り

識別(分かち合い) 2月のCome&see 資料を使用

星の園幼稚園からの連絡・調整事項

2017年度聖堂・会議室等使用申請書別途提出予定。

住吉教会として星の園幼稚園と一層連携協力して行きます。

議事

- 1 行事予定の追記、変更について：別途ミサお知らせに反映
- 2 2017・2018年度住吉小教区評議会議長団について審議、選任、評議会決定

(1) 神戸中央・住吉共同宣教司牧チーム 担当司祭 様

住吉小教区評議会は、新議長団を下記のとおり評議会決定しました。
司祭承認を御願ひ申し上げます。

評議会議長	T.U.	(再任・書記兼任) 地区評議会、東ブロック会担当
副議長	S.N.	(新任) 地区評議会、東ブロック会担当
副議長	K.K.	(再任、施設管理チーム代表兼任)
相談役	A.K.	(前副議長・前財務チーム代表、元議長)

副議長(女性)につきましては、議長氏家が3名の方に就任をお願いしましたが、何れの方も、様々な事情により辞退されましたことを報告致します。
今後とも副議長(女性)の就任要請を継続していくことと致します。

(注) U議長については、評議会議長連続3期目となるため、住吉教会評議会規約第5条 構成 3 の規定により、対外的には評議会議長を標榜しますが、住吉教会評議会規約上、副議長(信徒代表)の扱いとなります。

(旧信徒会規約時に副会長4名の中からH.Y.信徒代表を互選した先例に倣います)

(2) 評議会議長団審議時に出された意見

- 評議会議長職が教区、地区、ブロック、小教区と専門的な職務範囲となり、後継が決まりにくい。(2年後の評議会議長については、検討・内諾等の感触を頂いたとの議長報告有り。)
- 各チームへの加入を勧め、評議会の裾野を拡げることが大切である。
小教区評議会にはチーム代表だけでなく、サブリーダーも出席してもらい、傍聴だけでも良いので、皆で造り上げる雰囲気共有して行きたい。
- 運営委員会の再開を。もっとオープンな形で参加出来るようなスタイルで。
- 評議会の「もっと見える」化を。どんな形で、どのように物事が決められていくか。
- 「お互いに仕える者となりなさい。」
- 子どものキャンプのご飯づくりからスタートした。きっかけから。
- 行事の調整、確認、報告だけでなく、チームの困り事の意見交換等意識改革を。
- 以前、弁当を出して長時間審議していた頃と比較すると随分、会議時間も短縮された。住吉教会運営に際し、女性の力が大きいので婦人会が復活出来ればもっと参加してもらえる。
- 評議会が何をやっているか、わかってもらっていない。行事の前等オープンな話し合いにしたら良い。
- 一人一人を育てるには、その人が育つようにどう関わればいいのか常に考え、1年間を通して一緒に活動していくことが大切である。
- あまりにも議論が多すぎる。もう少し簡素に。
昔のヨゼフ会(壮年会)のように、人々がスムーズに集まることを可能にすべき。
- 黙想会の時、ホールでの私語で騒がしい。静粛を保つ。聖堂の扉は音を通します。

3 聖週間の典礼について

聖木曜日 (4月13日 19:00) 主の晩さん(司式 ブラッドリー神父)、洗足式

聖金曜日 (4月14日 19:00) 主の受難、大齋・小齋(司式 傘木神父)

聖土曜日 (4月15日 19:00) 復活徹夜祭(司式 コンスルタ神父)

復活の主日(4月16日 9:30)(司式 ブラッドリー神父)、初聖体、送別会

4 堅信式準備状況について(N・U、東ブロック堅信準備会報告)

堅信準備勉強会：神戸中央教会で神戸中央。住吉合同で開催中。4名受講中。

6月11日(日)10:00東ブロック合同堅信式(六甲教会)

前田大司教司式。受堅者9:00集合。スタッフその前集合

受付：U(M)、DVD撮影：住吉広報チーム、写真係：六甲、神戸中央広報部

5 その他検討、報告事項

(1) 金祝（サンミゲル神父）・銀祝（パウロ神父・ブラッドリー神父）、司祭ご転任に伴う送別献金を教会会計から支出。

(2) 会計監事

U 監事、2期4年任期満了、離任。後任 K 監事就任。

K 監事、2期目就任（継続）。

以上、評議会決定。

(3) 小教区総会（4月23日）：聖堂で開催すると出席者が限られており、2014年赤波江神父が提案された時と同じく、新旧役員（議長団、改選チーム代表）挨拶はミサお知らせ時に、その後の議事説明、質疑応答はミサゴで開催すること。

・ 3月26日（日）シリロ神父様歓迎拡大ミサゴ（茶話会：サンドウィッチ、菓子）

終わりの祈り ☆次回評議会 4月23日（日）小教区総会終了後、第1会議室にて

四旬節愛の献金について

3月1日の灰の水曜日から四旬節に入っています。この期間、教会は「祈りと節制と愛の業」という三点をもって、信仰を見つめ直すよう私たちに呼びかけています。四旬節の献金は、犠牲として捧げる心をもって行う愛の業に他なりません。この四十日の間、愛の業に励む具体的な印として、受付で配っている緑色の献金袋で「四旬節愛の献金」にご協力いただきますようお願い致します。

受付の教会維持費等納入箱かミサの中でまわって来る献金籠に入れていただければよろしいかと思えます。

なお、この献金は大阪教区経由でカリタスジャパンに送金され、国内、海外の援助活動事業に使われます。（社会活動チーム）

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で 収入のある方です。不安定な収入、年金生活等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため 可能な限りのご協力をお願いいたします。神に感謝
(財務チーム)

聖週間について

典礼チーム

今年も四旬節の半ばになり、まもなくわたしたちは1年でもっとも大切な、ご復活の日を迎えます。その直前の聖週間は次のような日程になります。

(1) 4月9日(日)受難の主日〔枝の主日〕 9時半

この日は主キリストのエルサレム入城と受難という、二つの出来事を記念します。わたしたちはシュロの枝を持って聖堂の入口に集まり、枝の祝福を受けた後福音の朗読を聞いて、司祭と奉仕者に続いて聖堂に入ります。ミサの中では、キリスト・語り手・群衆などに役割を分担して、キリストの受難が朗読されます。今年はA年にあたるためマタイ福音書から読まれます。

(2) 4月13日(木)聖木曜日 19時 主の晩さんの夕べのミサ

キリストが聖体を制定し、ご自分の記念として行うように命じた“最後の晩さん”を記念します。またキリストが弟子の足を洗った出来事にならって、司祭が数人の信者の足を洗う洗足式もおこなわれます。拝領祈願の後、御聖体は別の安置所に移されます。祭壇上のはすべて取り除かれ、キリストの受難と死が始まったことを表します。わたしたちは仮安置所の御聖体の前で祈ります。

(3) 4月14日(金)聖金曜日 19時 主の受難

この日はキリストの受難と死の意義を思い起こして断食し、また救いへの過越の途上なのでミサはありません。聖堂に集まって、「言葉の典礼」で役割を分担したヨハネによる受難の朗読を聞き、盛式共同祈願ののち「十字架の礼拝」がおこなわれ、「交わりの儀」の中であらかじめ聖別された聖体をいただきます。

(4) 4月15日(土)復活徹夜祭 19時 復活の聖なる徹夜祭

本来は夜を徹してキリストの復活を記念する典礼でしたが、住吉教会では夜の7時から行われています。典礼は次の「光の祭儀」「言葉の典礼」「洗礼と堅信」「感謝の典礼」の4部で構成されています。

①「光の祭儀」 聖堂の外で祝福された火が復活のろうそくにともされ、皆で「キリストの光」・「神に感謝」と歌いながら、列になって真っ暗な聖堂に入ります。その後復活のろうそくから各々のろうそくに火がともされ、“復活賛歌”が歌われます。

②「言葉の典礼」 照明をつけろうそくを消して着席した後、旧約聖書が読まれます。全部で七つありますが、当教会では第1朗読(創世記)、第3朗読(出エジプト記)、第7朗読(エゼキエルの預言)が読まれ、それぞれ答唱詩編と祈願がつきます。その後祭壇のろうそくに火がともされ、“栄光の賛歌”を歌い、“使徒パウロのローマの教会への手紙”、アレルヤ唱、福音朗読と続きます。

③「洗礼と堅信」 この徹夜祭は初代より洗礼式にもっともふさわしい時と考えられてきました。住吉教会でもこの日に洗礼と堅信を受け、初めてご聖体をいただく方を迎えます。またすでに信者であるわたしたちも、各自の洗礼を思い起こし、神の子として生きる決意を新たにします。

④「感謝の典礼」 ここからはいつもの主日のミサと同じように行われます。

(4)4月16日(日)9時半 復活の主日〔日中のミサ〕

この日はアレルヤ唱の前に“復活の続唱”を歌います。また初聖体のお恵みをいただく方もおられますので、信者たち皆で喜びを分かち合います。